

人間の安全保障基金によるエルサルバドル共和国における「ソンソナテ県3市の市民安全改善と平和共存の推進による人間の安全保障強化プロジェクト」への支援について

1. 本案件は、国連開発計画（UNDP）、国連児童基金（UNICEF）、汎米州保健機構（WHO/PAHO）及び国際労働機関（ILO）がエルサルバドル共和国において実施する「ソンソナテ県3市の市民安全改善と平和共存の推進による人間の安全保障強化プロジェクト」に対し、人間の安全保障基金を通じ、216万2,000ドル（約2億5,079万円）の支援を行うもの。

2. 治安問題はエルサルバドル社会が直面する最も深刻な課題のひとつであり、特に、ソンソナテ県は、高い犯罪率、性差に基づく暴力等に見られる社会的不安定により社会開発が阻害されている。

本プロジェクトは、ソンソナテ県の3市において治安の回復、子供・青少年の保護、性差の解消等を行うことにより、上記の課題に取り込むものである。主な活動は以下のとおり。

- （1）安全及び共存の達成を目的とした政策の策定及び実施に関する地方自治体、公安関係者等を対象とした訓練。
- （2）子供・青少年の保護のための政策の立案・実施、職業訓練の提供、意識の向上
- （3）武器を用いた暴力の削減・防止を目的とした武器の所持規制。
- （4）性的暴力・家庭内暴力、人身売買等の防止のための意識向上、専門家グループ、被害者団体等の設立、ネットワークの形成
- （5）性差の解消を目的とした政策の立案・採択に係る技術指導、女性の雇用機会の提供、意思決定プロセスへの参画。

3. 本プロジェクトの実施により、ソンソナテ県において市民の安全及び共存できる環境が確立され、人間の安全保障の実現及び人権の保障の確保につながることが期待される。